

サポーターの方からのご支援ありがとうございます



今回のご紹介:株式会社ストーン・フィールド

調剤薬局サン薬局を運営されている、法人サポーターの株式会社ストーン・フィールド様(大阪府東大阪市)は、創業以来、地域に密着し、「ありがとう」が集まる薬局となるよう取り組まれています。各店舗順調に外来の処方箋が増加中で、売上も每期ごとに前期を上回る数字を達成していらっしゃいます。社会貢献活動として CIESF にも多大なるご支援をいただいております。石田社長にお話を伺いました。



代表取締役石田敬宏さん

—支援をはじめてくださったきっかけは？

「CIESF の大久保理事長との出会いが支援のきっかけです。弊社は創業当初より社会への責任ということを感じておりますが、実際に本業以外での取り組みができていなかったこともあり、何か自社で取り組めることはないかと考えていました。そんな中、CIESF の大久保理事長に出会い、また、カンボジアを訪問して、戦後の日本を守ってくれたカンボジアに、カンボジアの子供や成人の輝く瞳に何か貢献したいという思いが強くなり、支援をはじめました。まずできることから始めようということがきっかけでしたが知れば知るほど、関われば関わるほど貢献したいという気持ちがどんどん高まってきているというのが現在の気持ちです。今後は、ASEAN が統合される方向性もありますし、日本の人口動態を見ても諸外国との連携なくして国の成長もないと考えています。その中で BOP(低所得層を対象とする国際的な事業活動)対象諸国に対して社会性の高い貢献をし、事業も進めていかなければならないと考えています。お金儲けのためだけではなく、その国の国民の気持ちになって貢献できることをさせていただき、事業も一緒に作り上げる気持ちでいることが重要です。CIESF の活動は素晴らしい活動です。カンボジアをはじめとする ASEAN 諸国に対して、国を成長させ、人間を形成する上で最も重要な教育、中でもソフト面である教員を育成することで新興国の教育レベルを上げ、そこから国力も上げていくことに貢献しています。今後、できる限り貢献させていただきたいと思っております。素晴らしい機会をいただきましてありがとうございました。」

—支援活動の内容とお客さまからの反応を教えてください。

「募金箱の設置、薬局内のウォーターサーバー利用者から 10 円の寄付、処方箋 1 枚につき 1 円の寄付、10 万円の法人サポーターを通じて関わらせていただいております。患者様が中心になって募金をしてくださっておりますが、自分自身がカンボジアの教育支援をしていることで社会に貢献している実感を持たれていますし、同じ処方箋を持参するのであれば、社会に貢献している薬局に持って行きたいと言ってくださる患者様も増えてきております。今後もこの活動に自主的に参加される患者様がどんどん増えてくることは間違いのないでしょう。また、医療機関の方でも、この活動に対するお話をされるので先生方からのご評価も非常にいただいております。」

—石田社長、いつもご支援ありがとうございます。



CIESF の支援活動は寄付で成り立っています。皆さまのあたたかいお気持ちをお待ちしております。

CIESF サポーター募集

- 法人サポーター 1口10万円(寄付から1年間)
- スペシャルサポーター 1口5万円(寄付から1年間)
- 個人サポーター 1口1万円(寄付から1年間)

三菱東京 UFJ 銀行 青山支店(店番 608)普通預金
口座番号 0021714
口座名 公益財団法人 CIESF 理事長大久保秀夫

※ゆうちょ銀行、楽天銀行、クレジットカードでのご寄付については、CIESF ホームページをご覧ください。

編集後記 謹賀新年。今年は大型連休だったので年末年始を海外で過ごされた方も多いですね。私は数年ぶりに1月2日と3日は箱根駅伝(テレビ)に浸りました。母校が出場しているので、来年は沿道で旗を振ってみたいくなりました。一般参観で日の丸は振ってきたのですが、皆様の素晴らしい1年を祈念いたします。(YM)

発行:公益財団法人 CIESF
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-7-5
URD 渋谷第 2 ビル 4F



CIESF NEWS LETTER

シーセフ ニュースレター

2015 January

第 28 号

公益財団法人 CIESF(シーセフ)は、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

今年もよろしくお願いいたします



新年あけましておめでとうございます。本年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

年があけて2015年、起業家育成事業として取り組んできた「第5回カンボジアビジネスモデルコンテスト」も、最終選考会&表彰式が来月(2月8日)に迫って参りました。今年も、起業家を目指すカンボジアの学生と日本の起業家が集うイベントも開催されます。多くの支援者の方々が、将来のカンボジア経済の発展を担う人材の育成を応援してください。心から感謝いたします。



ビジネスモデルコンテスト:「一般ビジネス」「技術・IT」「農業・地方開発」の3カテゴリーでそれぞれビジネスモデルが発表される



アントレプレナーフェスティバルの様子

- 2015年2月7日(土)9:00~15:00(予定)
「第3回アントレプレナーフェスティバル」
カンボジアの若者と日本の起業家の交流ワークショップ
会場:カンボジア日本人財センター(CJCC)
- 2015年2月7日(土)16:30~19:30(予定)
「第2回ビジネスモデルコンペティションプラス」
最終選考に残ったチームと日本の起業家・投資家によるビジネスミーティング
会場:未定(プノンペン市内のホテル)
- 2015年2月8日(日)9:00~16:00(予定)
「第5回カンボジアビジネスモデルコンテスト」最終選考会&表彰式
最終選考会会場:カンボジア日本人財センター(CJCC) 表彰式会場:未定(プノンペン市内のホテル)

スバイリエン州における「国境なき教師団」の活動

CIESF 設立とともにスタートした「国境なき教師団」は、カンボジアの教員養成校に日本からベテランの教師を教育アドバイザーとして派遣し、教師育成の支援を行っている活動です。2015年1月現在で延べ20名を派遣しました。これまでのプノンペン市・プレイベン州に加え、2014年10月より、新たにスバイリエン州の小学校教員養成校への支援もスタートし、算数の担当として山田史子(やまだふみこ)先生が赴任しています。カンボジア人の教官とティームティーチング方式で、小学校の教員を育てる活動を行っています。スバイリエン州の同校には、3月に新たに理科担当の教育アドバイザーを派遣する予定です。



スバイリエン小学校教員養成校への日本の支援は CIESF が初となる



【スタッフを紹介します】 カンボジアオフィス事務局長補佐 イアン・ナリー

現在、カンボジアの教育は基礎教育や教え方などの問題があり、早く改善しなければいけない状況です。カンボジア人がカンボジア人に指導できるようになり、自立していくためには時間が掛かるとは思いますが、CIESF の職員として、全力で頑張りたいと思っております。カンボジアの人々により良い教育を与えられるように努めていきますので、これからもご支援いただきますようよろしくお願いいたします。



【講演いたします】

CIESF では、活動をお伝える講演活動を行っています。話者は、CIESF 創設メンバーであり、理事・事務局長の戸田陽子です。団体設立から日本の事務局運営を行ってきた女性の視点で、カンボジアをはじめとした途上国にとって、今必要な教育支援についてお話いたします。少人数からイベントでのコンテンツとしてなど、ご相談に応じますので、ご興味のある方はお問い合わせください。

特集 教育関連企業と社会貢献⑥

カンボジアをはじめとした途上国の教育支援を行っている私たち公益財団法人 CIESF は、日本の教育について調べて、考えてみることにしました。現在カンボジアにおいては、学校という建物(=ハードウェア)ではなく、教育の中身(=ソフトウェア)の支援を行っています。具体的には、教師の質の向上を目指しベテラン教師を現地の教員養成校に派遣する「**国境なき教師団**」事業。そしてカンボジア教育省の若手官僚から国の教育政策を担う人材を育成する**教育政策大学院大学事業**です。日本の教育に基づいて、カンボジアに適した形でアドバイスをを行うのですが、基本となる日本の教育について、きちんと知っておかなければならないと思いました。現在、日本の教育も様々な課題を抱えています。その課題解決の課程や方法は、将来、途上国の教育支援に必ず活かせると想定しています。

この特集では、教育関連事業を行っている企業・団体の方にインタビューを行い、学校とは違う角度で日本の教育における課題について伺っています。



カンボジアで活動する「国境なき教師団」の教育アドバイザー

東京コミュニティスクール 前編

インタビュー第 4 回目の今号では、知力だけではなく、豊かな心や健康な体などの生きる力を兼ね備え、社会性をもった一人一人の人間の成長を支援するための教育を行っている、NPO 法人東京コミュニティスクール(東京都中野区)をご紹介します。お話を聞かせてくださったのは、校長の市川力(いちかわちから)さんです。

教育について問題意識を、課題として取り組むこととなる

東京コミュニティスクール(以下 TCS)は、小学校です。と言っても、普通私たちがまず連想するあの学校とは少し違います。1 クラス 6 名×6 学年、合計 36 名(※現在は 1 クラス 9 名に変更)が定員の小さな学校です。それぞれの子どもの持つ「違い」を大切にしながら、個々への対応を考えた環境を整えた結果、この人数になったそうです。

はじめに、校長の市川さん自身が、この学校の校長になった経緯を伺ったところ、次のようにお話しくださいました。海外での経験がきっかけだったようです。

「13 年間アメリカで日本人駐在員の子どもが通う学習塾をやっていました。彼らは現地でもいい教師がいるプロジェクト型のパブリックスクールに通っているケースが多かったのです。私は塾で日本の高校や大学に入るための受験対策を教えていましたが、せっかくアメリカでいい学校に通っているのに、どうして旧来の日本式の試験勉強に戻らなければならないのか? という問題意識を持ちました」



校長の市川力さん

「探究する学び」

アメリカから帰国後、偶然か必然か、「探究する学び」ができる学校創立を考えていた久保一之(くぼかずゆき TCS 創業者・理事長)さんと出会いました。久保さんから、新しく作る学校の校長になってほしいと熱いアプローチを受け、一度は丁重に断ったものの、最終的には決意を固めて校長に就任することを決めました。現代の日本は様々な教育問題を抱えています。それを変えたいと思ったとき、評論したりクレームをつけたりするのではなく、自分が動いて変革していくことが重要だと市川さんは考えていたのです。奇しくも、アメリカ滞在中に抱えていた問題意識を、日本で、課題として取り組むこととなったのです。

TCS が実践している「探究する学び」とはどのようなことなのでしょう。探究型の反対は知識記憶型です。つまり「探究する学び」とは、知識や記憶で終わらせない学習ということになります。TCS では次のように説明しています。——好奇心に充ち溢れた小学生という成長期に、自ら疑問を持ち、学び、さらにその先の疑問を探究していくことの習慣化こそが重要であると考えています。自らの探究心を燃やし続けながら、思考と行動のプロセスを自然な流れのなかで繰り返していく「探究する学び」を経験していく中で、子どもたちは、TCS の目指す「学び続ける力」を習得していくのです。——TCS の時間割を見せていただくと、「国語」「算数」「理科」「社会」といった文字が見当たりません。たとえば、小学校 6 年生の木曜日は、「ENGLISH」「読む」「ことば」「みん算」「テーマ学習」「テーマ学習」の 6 時間です。気になったというか、聞きなれないのが「みん算」。別の曜日には「ひと算」がありました。字面からすると「みん算」はみんなで学ぶ算数、「ひと算」はひとりで学ぶ算数のようです。学ぶスピードが違う子どもたちがすべてをみんなで学習する必要はなく、自分のペースで学ぶ時間が「ひと算」。一方、概念的意味を理解するには、学びのスタイルが異なる子どもが一緒に、お互いの考えをぶつけ合うことが有効なので、みんなで意見を出し合って公式を読み解いたりする授業が「みん算」とのこと。これなら行かれる子どももなく、みんな算数が好きになるだろうな、と感じました。

(次号につづく)



学校のエントランスには TCS のシンボル。「!(発見)」「?(疑問)」「もやもや」3つのアンテナが子どもを迎えます

ご支援ありがとうございます (12 月)

CIESF の活動は、多くのサポーターの方々を支えられています。法人サポーターの皆さま(プラチナ・ゴールド・シルバー・ブロンズサポーター)・個人サポーターの皆さま(スペシャル・個人サポーター・「国境なき教師団」応援団)には、誠に感謝申し上げます。12 月にご寄付を頂戴した方々を下記にご紹介させていただきます(12/1~12/31)。

- 法人サポーター(ゴールドサポーター):株式会社アカデミー/株式会社プロステージ/株式会社ウィルワン/プレジール株式会社/創建設計株式会社/株式会社オピカ/株式会社川本建築設計事務所(KEIZO ARCHITECT OFFICE)/株式会社オフィスミツヒロ/有限会社タクミ/株式会社日本テレメックス/株式会社キュリオステーション/中央地所株式会社/株式会社デリブ/株式会社カナエキモノハーツ/株式会社日進中部
- 法人サポーター(シルバーサポーター):共立運送株式会社/株式会社万代/阿部税理士事務所/アトモスダイニング株式会社/大貫建築株式会社/株式会社こうしんづか/株式会社グランドビジョン/株式会社西澤ロイ事務所/ペルパック株式会社/株式会社アミノ/株式会社ミヤコケミカル/株式会社ファスタ/株式会社ウイルエー/株式会社エイ・エヌ・エス/株式会社コウズ/原税務会計事務所/株式会社ビューティースタジオセラビー/タカ・エンタープライズ有限会社/株式会社セキュリティフォーユー/株式会社カウテレビジョン/株式会社ミュージカルトラスト/NPO 法人ひよこ会/株式会社イーグース/株式会社イムラ/株式会社ソーシャルプロジェクト/有限会社モイスティヌ仙台販売/株式会社ラポールヘアグループ/有限会社長生庵/株式会社 FoomanLAB
- 法人サポーター(ブロンズサポーター):株式会社ドムデザイン/株式会社フィットコーポレーション/株式会社美輪
- 支援企画寄付:リネットジャングル株式会社/スマイルキューブ株式会社
- スペシャルサポーター:林孝悦/河野孝
- 個人寄付:狩野園佳/千坂いづみ
- 「国境なき教師団」応援団:江尻秋男/越智紀美子

※以上敬称略